

遠距離介護が、目を見てくる子世代に親世代

パオッコ活動現場より

NPO法人パオッコ「離れて暮らす親のケアを考える会」 太田差恵子

テレビで映される雪深い風景などを見ながら、故郷の親に思いを馳せ、これからのことを不安に思っている方もいるでしょう。とはいえ親の居住地が子の住まいから遠いと、気がかりでも、しばしば会いにくいのは難しいことです。お金と時間がなければ、飛行機や新幹線を使つて度々会いにくいのは困難と言わざるをえません。

親が独居の場合に心配なのはもちろん、2人暮らしの場合の老老介護も気がかりです。心身の弱った親をサポートするのは、これまた老いた親ということになりますから。

主な介護者と要介護者等との続柄及び同別居の構成割合を示

した調査があります。「平成19年国民生活基礎調査」(厚生労働省)。

主な介護者をみると、要介護者等と同居している家族等介護者が60・0%、別居している家族等介護者が10・7%、事業者は12・0%。やはり、「同居」家族による介護が多いのですね。「別居」の6倍にも。

では、同居している主な介護者の続柄はどのようになっていくのでしょうか。「配偶者」25・0%、「子」17・9%、「子の配偶者」14・3%となっています。

ここで注目すべきは、配偶者が4分の1にあたる25%にもほつている点だと思えます。高齢の2人暮らしで、一方に不自

由が生じれば、もう一方がサポートすることになるのは当然といえは当然ですが、過酷であることが想像できるからです。年代をみると、70歳以上が介護者となつているケースが34・1%にのぼり、80歳以上も11・1%となつています。

つまり、子が別居する形態が増加しているということは、「遠距離介護」が増えることであり、裏返せば「老老介護」が増していることだといえるでしょう。

パオッコにも「父を介護している母の健康が心配」など共倒れを気がかりに思う子の声が寄せられることは珍しくありません。それを阻止するために遠距離介護をしている子もいます。

ています。介護者が疲れた時や、外出の時、緊急時などの介護の代役については、「別居の娘・息子家族」が40・8%。一方、介護の代役が「いない」者が23・7%です。

この調査結果から、やはり「遠距離介護」は、親が独居の場合だけでなく、いかに老老介護をサポートし、親の共倒れを阻止するかという課題を抱えていることが分かります。

* *

介護の代役についても質問し

ほどかれます。父親とすれば悪気はなく暴力を振るうわけではないのですが、いかんせん体が大きいので、振りほどかれただけで母親はよたよたと倒れ込んでしまうようになりました。

「自分が同居していたら、まだまだ在宅でだいじょうぶだったと思うのですが」とA子さん。父親の施設入居を決断しました。これ以上の両親2人暮らしの継続は、母親がからだを壊すことになると思つたのです。

Bさんのケースも、両親は2人暮らしでした。

父親が骨折で入院したときのこと。Bさんは、長期間、実家で生活しながら、病院に父親を見舞い、身の回りの世話をしていました。しかし、父親がそろそろ退院かという時期に差し掛かると、母親は体調を崩してきます。「母は父親が退院することを恐れたのでしよう。自分ひとりで介護することになるのではと。その現実には重荷で、不安だったのだと思います」とBさんは推測します。

先に紹介した北海道の調査で「介護を引き受けた理由」として多かった「自分しかいない」「家族だから」とリンクします。Bさんの母親が将来を不安視し体調が悪くなったのはもともとなことといえそうです。

老老介護は難しい現実。かといってB子さんも、実家に戻るという選択はできません。B子さんにはBさんの生活があります。結局、父親は施設に入居。母親も「私も施設に入りたい」と言うようになり、幸い父親と同じ施設に入居することができました。

核家族が一般化した現代社会で、高齢者だけの世帯が増加していくことは自然な成り行きです。今後増えていくでしょう。老老介護での共倒れを防ぐ手立てはあるのでしょうか。新サービスとして始まるうとして「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」等が有効に機能していくか、注視する必要があると思えます。

NPO法人パオッコ

～離れて暮らす親のケアを考える会～

親世代はできることなら生涯、住み慣れた家で住まい続けたいと望み、子世代も仕事や子どもの教育などを考えると、故郷に戻ることは容易ではありません。そんな状況のなか、親の心身に衰えが生じると子世代はどうしたものかと悩みます。パオッコは「ひとりの経験はきっとみんなの役に立つ」という理念のもと、情報や体験を共有。ぜひ、ホームページに遊びに来てください!

〒113-0033 東京都文京区本郷3-37-8
本郷春木町ビル9F インキュベーションハウス内
ホームページ <http://paokko.org>